

# 資源・素材 2024（秋田）大会概要

## —2024 年度資源・素材関係学協会合同秋季大会—

会 期 : 2024 年 9 月 10 日（火）～ 12 日（木）  
 会 場 : 秋田大学 手形キャンパス（〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町 1-1）

主 催 : (一社)資源・素材学会  
 共催(予定): 秋田大学、(独)エネルギー・金属鉱物資源機構、(一財)カーボンフロンティア機構、  
 骨材資源工学会、石灰石鉱業協会、線材製品協会、日本鉱業協会、  
 日本鉱業史研究会、(一社)日本砕石協会、ワイヤロープ研究会、  
 (一社)資源・素材学会資源・素材教育センター  
 協賛(予定): (一社)岩の力学連合会、(一社)エネルギー・資源学会、(公社)化学工学会、  
 (一社)環境資源工学会、(一社)廃棄物資源循環学会、資源地質学会、石油技術協会、  
 (公社)土木学会、(一社)日本機械学会、(公社)日本金属学会、(公社)日本材料学会、  
 日本地熱学会、(一社)日本鉄鋼協会、(一社)日本リモートセンシング学会、  
 (公社)物理探査学会  
 後援(予定): 秋田大学大学院国際資源学研究科附属鉱業博物館、秋田県、秋田市、  
 (公財)秋田観光コンベンション協会、  
 (株)産業新聞社、(株)セメント新聞社、(株)鉄鋼新聞社、(株)日本砕石新聞社

### ■大会スケジュール

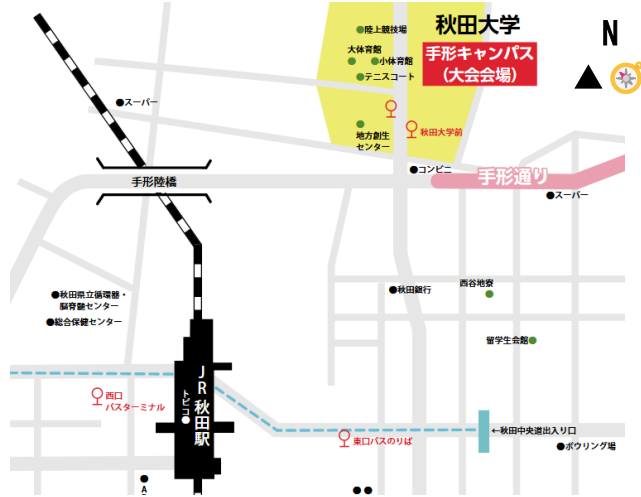
月 日	時 間	行 事	会 場
9 月 10 日 (火)	終 日	企画講演、一般講演	秋田大学 手形キャンパス 一般教育 1 号館、2 号館
	12:00～13:00	各種委員会	
	18:00～20:00	部門委員会グループ交流会	秋田アトリオン 地下 1 階 多目的ホール
9 月 11 日 (水)	午 前	企画講演、一般講演	秋田大学 手形キャンパス 一般教育 1 号館、2 号館
	12:00～13:00	各種委員会	
	午 後	招聘講演（経済産業省）	
		一般・若手ポスター発表ショート講演	
	夕 刻	一般・若手ポスター発表	秋田大学 手形キャンパス 大学会館「クレール」 イベントホール
夕 刻	大会交流会 若手ポスター発表賞 表彰式	ANA クラウンプラザホテル秋田 4 階「ベガ」	
9 月 12 日 (木)	終 日	企画講演、一般講演	秋田大学 手形キャンパス 一般教育 1 号館、2 号館
	12:00～13:00	各種委員会	
	夕 刻	資源・素材塾ネットワーキング情報交換会	大会 WEB サイトにてご案内
9 月 13 日 (金)	見学会 3 コース 参加人数が少ない場合、取り止めさせていただく場合がございます。	1 班. 再生可能エネルギーコース（定員 30 名） 湯上ウインドファーム、澄川地熱発電所 2 班. 秋田市内製・精錬コースコース（定員 20 名） 秋田製錬(株)、日本新金属(株) 3 班. 大館・能代地区リサイクルコースコース（定員 30 名） 秋田エコブラッシュ(株)、エコリサイクル(株) エコシステム秋田(株)、エコシステム花岡(株)	

大会スケジュールは 7 月中旬、大会プログラムは 7 月下旬を目途に大会 WEB サイトにて一般公開予定です。

# 大会会場（秋田大学 手形キャンパス）のご案内

## 交通アクセス

- ▶ 秋田空港より：  
リムジンバスで JR 秋田駅へ（約 35 分）
- ▶ JR 秋田駅より：
  - ・徒歩約 20 分
  - ・西口より秋田中央交通バスで「秋田大学前」下車（約 10 分）
  - ・タクシーを希望の場合、以下主要業者へお電話願います。  
あさひタクシー：018-834-5555  
国際タクシー：018-833-5931  
キングタクシー：018-862-6677



## キャンパスマップ [秋田大学 手形キャンパス]



## 9/10 部門委員会グループ交流会

大会初日 [9月10日(火)] の18:00より、  
[秋田アトリオン 地下1階多目的ホール] にて  
【部門委員会グループ交流会】を開催いたします。  
\* 状況に応じて感染症対策を行いながら開催します。  
本会の活動を代表する学術領域の区分として  
設けられた「地球・資源」、「プロセス・素材」、  
「環境・リサイクリング」各部門委員会グループ  
の活性化のため、それぞれのグループに所属する  
部門委員会が枠を越えて交流を盛んにしていこう  
という趣旨で開催いたします。  
本交流会を通じ、新たな動きが数多く芽生えること  
を期待しております。皆様、奮ってご参加ください。  
■部門委員会グループ交流会会場までのアクセス



【JR 秋田駅】西口より徒歩5分。大学からの移動手段は次頁「大会交流会場へのアクセス」と同様。

### ▶地球・資源グループ交流会のご案内

《探査工学部門委員会》 《岩盤工学部門委員会》 《採掘技術部門委員会》 《海洋資源部門委員会》  
《建設用原材料部門委員会》 《石炭等エネルギー開発利用部門委員会》 《地球環境工学部門委員会》  
日時：2024年9月10日(火) 18:00~20:00  
会場：秋田アトリオン 地下1階 多目的ホール (秋田総合生活文化会館 秋田市中通二丁目3-8)  
会費(税込)：5,000円 (学生・大学院生は3,000円) 当日、会場にて現金で申し受けます。  
責任者：大阪公立大学 山崎哲生 (海洋資源部門委員会幹事)  
問合せ先：秋田大学大学院国際資源学研究科 木崎 彰久  
E-mail kizaki@gipc.akita-u.ac.jp TEL 018-889-3258

### ▶プロセス・素材グループ交流会のご案内

《素材部門委員会》 《粉体精製工学部門委員会》  
日時：2024年9月10日(火) 18:00~20:00  
会場：秋田アトリオン 地下1階 多目的ホール (秋田総合生活文化会館 秋田市中通二丁目3-8)  
会費(税込)：5,000円 (学生・大学院生は3,000円) 当日、会場にて現金で申し受けます。  
問合せ先：秋田大学大学院国際資源学研究科 川村 茂  
E-mail kawamurs@gipc.akita-u.ac.jp TEL 018-889-3206

### ▶環境・リサイクリンググループ交流会のご案内

《資源リサイクリング部門委員会》 《地圏環境工学部門委員会》 《資源社会システム部門委員会》  
日時：2024年9月10日(火) 18:00~20:00  
会場：秋田アトリオン 地下1階 多目的ホール (秋田総合生活文化会館 秋田市中通二丁目3-8)  
会費(税込)：5,000円 (学生・大学院生は3,000円) 当日、会場にて現金で申し受けます。  
問合せ先：秋田大学大学院国際資源学研究科 芳賀 一寿  
E-mail khaga@gipc.akita-u.ac.jp TEL 018-889-3052

## ■■■■■■■■■■ 3グループ共通申込先 ■■■■■■■■■■

申込先は、3グループ共通です。申込締切 **8月23日(金) 正午まで**

※当日参加も受け付けますが、料理等の事前手配のため、可能な限り事前登録をお願いします。  
申込は大会WEBサイトの【部門委員会グループ交流会】より【3グループ共通申し込みフォーム】にアクセスし、お一人ずつお申込みください。(右記QRコードからもアクセス可)。



## 9/11 大会交流会 (若手ポスター発表賞 表彰式 併催)

9月11日(水) 18:00~20:00 (予定)

会場: ANA クラウンプラザホテル秋田 4階「ベガ」 (〒010-0001 秋田県秋田市中通 2-6-1 TEL. 018-832-1111)

### ■大会交流会場へのアクセス

【秋田大学 手形キャンパス】より

- ・徒歩の場合: 約20分
- ・秋田中央交通バスの場合: 約10分  
大学最寄の「秋田大学前」から乗車し  
[秋田駅西口]下車  
(出発時刻: 14:07、15:04、16:14、17:31)

- ・タクシー移動をご希望の場合:  
以下タクシー会社にお問い合わせください。  
あさひタクシー: 018-834-5555  
国際タクシー: 018-833-5931  
キングタクシー: 018-862-6677

【JR 秋田駅】西口より徒歩3分

【秋田空港】より秋田空港リムジンバスで  
秋田駅西口下車(約35分)



## 9/10-12 (会期中) 9:00~16:00 秋田大学 鉱業博物館 (本大会参加者は入館無料)

本大会の参加者は、9/10-12の会期中に限り、鉱業博物館入館時に参加証(名札)を提示する事で入館無料となりますので、ぜひ足をお運びください。

本大会後援団体でもある秋田大学大学院国際資源学研究科附属鉱業博物館は、地球と資源に関する様々な分野の資料や標本を扱う秋田大学大学院国際資源学研究科の附属施設です。秋田県は鉱産資源に恵まれ、古くから鉱山開発が進められてきた地域です。県内各地には黒鉱鉱床や鉄脈鉱床などの金属鉱床が多数存在します。また日本海沿岸部は国内有数の油田地帯として知られています。鉱業博物館の沿革は、鉱山技術者養成のために1910年に設立された秋田鉱山専門学校の列品室にはじまります。その後、新制大学発足当時の鉱山博物館を経て、1961年に現在の鉱業博物館が建設されました。常時公開中の展示棟では、様々な色と形の鉱物・鉱石、珍しい岩石や化石を多数展示しているほか、資源開発の流れと鉱山技術について実機と精密模型でわかりやすく解説しています。また、期間限定の企画展・特別展や市民開放講座を通して、大学の最新の研究や幅広い学術分野の成果を紹介しています。

### ●アクセス:

秋田大学手形キャンパス  
「北門」から徒歩約5分  
住所: 〒010-8502 秋田県秋田市  
手形字大沢 28番地の2  
TEL: 018-889-2461  
FAX: 018-889-2465

開館時間: 9:00~16:00





## 9/13 見学会

コース名	主な見学先 (貸切バスにて移動)	参加費 (税込)	定員	備 考
1 班： 再生可能 エネルギーコース	潟上ウインドファーム 澄川地熱発電所	9,000 円 (昼食含む)	30 名 (先着順)	集合：08：45 秋田駅（東口） 解散：18：30 秋田駅（東口）
2 班： 秋田市内製・精錬 コース	秋田製錬(株) 日本新金属(株) ※ 同業他社（タングステン 関係企業）は原則お断り させていただきます。	7,000 円 (昼食含む)	20 名 (先着順)	集合：08：40 ANA クラウン プラザ <sup>®</sup> 秋田 解散：16：00 ANA クラウン プラザ <sup>®</sup> 秋田
3 班： 大館・能代地区 リサイクルコース	秋田エコプラッシュ(株) エコリサイクル(株) エコシステム秋田(株) エコシステム花岡(株)	8,000 円 (昼食含む)	30 名 (先着順)	集合：07：45 秋田駅（東口） 解散：18：30 秋田駅（東口） * 16:15 大館駅降車可能 (16:55 発→高速バス（盛岡行）→19:19 着） 17:10 大館能代空港降車可能 (18:30 発→ANA724（東京行）→19:45 着）

※ 定員を超える応募があった場合、同一団体からの参加人数の制限をお願いすることがあります。

### 第1班：再生可能エネルギーコース 概要

秋田県は、風力発電や地熱発電の普及が最も進んでいる地域の一つです。今回の見学会では、「秋田潟上ウインドファーム発電所」の敷地内の一角から同発電所を見学します。移動、昼食を挟んで、午後は「澄川地熱発電所」を見学します。

【見学先】 潟上ウインドファーム、澄川地熱発電所 <定員 30 名>

【日 程】 9月13日(金) [8:45] 秋田駅（東口）集合 ⇒ [9:20] 秋田潟上ウインドファーム発電所着 見学 ⇒ [9:50] 秋田潟上ウインドファーム発電所 発 ⇒ [12:00] 道の駅「かづの」にて昼食 ⇒ [14:00] 澄川地熱発電所着 見学 ⇒ [15:30] 澄川地熱発電所 発 ⇒ [18:30] 秋田駅（東口）到着、解散

### 第2班：秋田市内製・精錬コース 概要

秋田製錬(株)は国内最大の亜鉛製錬所であり、世界的にも珍しいヘマタイトプロセスを有し高い金属回収効率を実現しています。また、使用する原料の15%はリサイクル原料となっています。日本新金属(株)秋田工場は、タングステン精錬技術をもとに高機能金属粉末を製造している工場です。タングステン含有スクラップ及びタングステン精鉱等の原料からタングステン粉末やタングステンカーバイド粉末を一貫生産する国内唯一の技術を有しています。

※ 同業他社（タングステン関係企業）は原則お断りさせていただきます。

【見学先】 秋田製錬(株)、日本新金属(株) <定員 20 名>

【日 程】 9月13日(金) [8:40] ANA クラウン プラザホテル秋田集合 ⇒ [9:30] 秋田製錬(株)着 工場見学 ⇒ [11:30] 秋田製錬(株) 発 ⇒ [11:45] ポートタワーセリオンにて ⇒ [13:30] 日本新金属(株) 着 見学 ⇒ [15:30] 日本新金属(株) 着 発 ⇒ [16:00] ANA クラウン プラザ<sup>®</sup> 秋田到着、解散

### 第3班：大館・能代地区リサイクルコース 概要

秋田エコプラッシュ(株)は、廃プラスチックのリサイクル事業を中心とした事業を展開しています。またエコリサイクル(株)では、各種物理選別技術を用いた使用済み家電製品等からの有価物の回収・再資源化、エコシステム秋田(株)では、多種・多様な廃棄物の無害化・減容化に加え、電子機器類など金属類を主体とする使用済み製品・部品類の無害化・再資源化、エコシステム花岡(株)では、多様な方法で土壌浄化を行い、クリーンな管理型最終処分場の運営・管理を実施しています。以上を見学するコースとして、見学スケジュールは下記を予定しています。

【見学先】 秋田エコプラッシュ(株)、エコリサイクル(株)、  
エコシステム秋田(株)、エコシステム花岡(株) <定員 30 名>

【日 程】 9月13日(金) [7:45] 秋田駅（東口）集合 ⇒ [9:30] 秋田エコプラッシュ(株) 着 見学 ⇒ [11:15] 秋田エコプラッシュ(株) 発 ⇒ (弁当を受け取り、車内で昼食) ⇒ [13:00] 大館地区環境・リサイクル施設3社（エコリサイクル(株)、エコシステム秋田(株)、エコシステム花岡(株) 着 見学 ⇒ [16:00] 大館地区環境・リサイクル施設 発 ⇒ ( [16:15] 大館駅で降車可能<sup>\*1</sup>、 [17:10] 大館能代空港駅で降車可能<sup>\*2</sup>) ⇒ [18:30] 秋田駅（東口）到着、解散

\*1 16:55 発 → 高速バス（盛岡行）→19:19 着にご乗車いただけます。チケットの手配は、以下の HP をご確認ください、各自手配をお願いいたします。 <https://shuhokubus-gr.co.jp/express/michinoku>

\*2 18:30 発 → ANA724（東京行）→19:45 着にご乗車いただけます。チケットの手配は、以下の HP をご確認ください、各自手配をお願いいたします。 <https://onj-airterminal.com/flit/>

## ■■■■■■■■■■ 見学会申込期間・申込方法 ■■■■■■■■■■

2024年7月10日(水) AM 11:00 ~ 8月2日(金) 正午 までの間、先着順にて受付。

### 【申込方法】

大会 WEB サイトの「見学会」ページ（または右記 QR コード）より「見学会参加希望フォーム」にアクセスし、ご入力・送信ください。

※送信完了=即時参加可能ではございません。



事務局にて見学先に参加可否の照会后、事務局よりお申込者へ折り返し「参加可否の回答(※1、2)」をいたしますので、**参加可能の回答を受けた方のみ**、8月19日(月)までの大会早期決済期間中に、参加申込システムより事前参加費決済手続きを進めてください。(※3、4、5)

(※1) 人数制限や同業他社公開不可情報等により参加をお断りする場合がございます。

(※2) 見学先への参加可否照会に最大で一週間ほどお時間をいただく場合がございます。

(※3) 「見学会」のみ参加希望の場合も「大会」参加費のお支払いが必要です。

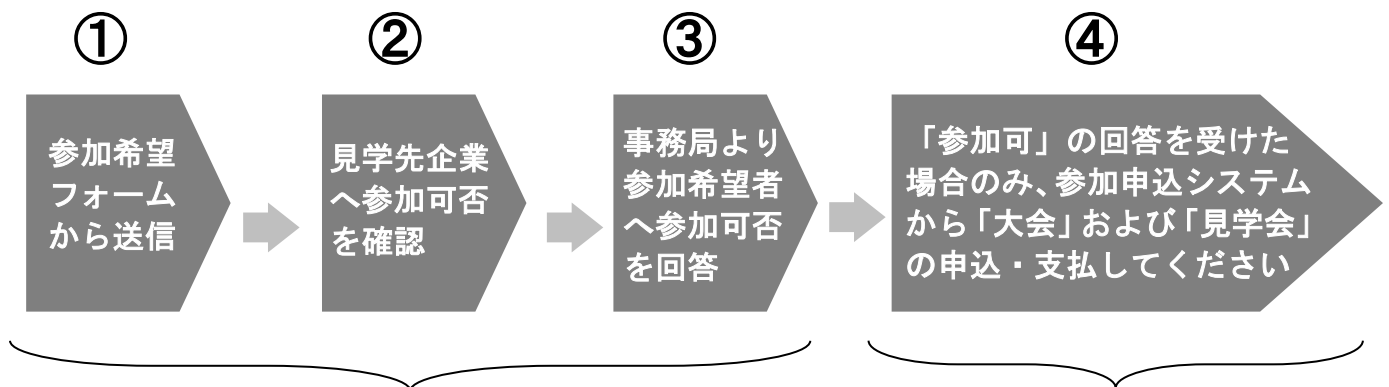
(※4) 学生の参加申込は、指導教員の氏名・連絡先の情報が必須です。

(※5) 8/19 までに支払を完了されない場合、予約は自動キャンセルとなります。

① 7/10AM11:00~8/2 正午まで

②、③ 随時、確認次第、事務局より回答

④ ~8/19 入金締切



①~③の手順を踏まずに、  
④のお申込はいただけません。

8/19 までに支払を完了されない場合  
予約は自動キャンセルとなります。

### 【申込取消】

参加申込取消をご希望の場合、8月19日(月)迄にE-mailにて資源・素材学会事務局 ([info@mij.or.jp](mailto:info@mij.or.jp)) 宛ご連絡ください。所定の手数料を差し引き、参加費を返金いたします。

なお、弊会【特定商取引法に基づく表記】に記載通り、8月20日(火)以降、参加申込のキャンセル・返金はいたしかねます。

### 【注意事項】

- ・各コースとも参加人数が少ない場合、取り止めさせていただく場合がございます。
- ・交通機関のダイヤ改正、各地の道路状況、天候等により、行程・時間が変更になる場合がございます。特にお帰りの列車および飛行機の時間は余裕をもった時間にてご手配ください。

## 9/12 資源・素材塾ネットワーキング情報交換会

9月12日（木）夕刻開催予定（詳細は確定次第、大会WEBサイトにてお知らせいたします。）

## 9/10-12 企業等展示ブース

会期間中、企業の商品・パンフレット展示、デモンストレーション等を実施いただける展示ブース出展および大会プログラム冊子版&データ版への広告掲載、大会WEBサイトへのバナー広告掲載を広く募集いたしております。本会告「広告掲載／展示ブース申込募集」ページをご確認の上、本会事務局宛お気軽にお問合せください。

## 9/10-12 大会期間中の一時託児保育（要事前予約）

本大会参加者のサービスの一環として、「資源・素材2024（秋田）」大会期間中（2024年9月10日～12日）、秋田大学内に大会託児所設置を予定しております。託児室利用希望者は、大会WEBサイトより要綱・申込期間等をご確認の上、WEBフォームからお申し込みいただきますようお願いいたします。※本制度は完全ご予約制となりますので、事前予約がない場合はご利用いただけません。お早めにお問合せくださいますようお願いいたします。

## 大会最新情報

お知らせや最新情報は、資源・素材2024（秋田）大会WEBサイトよりご確認ください。

- 大会WEBサイトへのアクセス：資源・素材学会WEBサイトトップページ右側の「資源・素材2024（秋田）」バナーをクリック または右記QRコードよりアクセス  
<https://confit.atlas.jp/guide/event/mmij2024b/top?lang=ja>
- X（旧・Twitter）：春季・秋季大会の連絡事項を主とした様々な情報を不定期に“つぶやき”で発信しています。  
アカウント名は「@MMIJ\_JIMUKYOKU」。今大会のハッシュタグは「#MMIJ2024b」。

大会概要および講演・参加申込に関する質問事項等は、資源・素材学会事務局宛お気軽にお問い合わせください。

E-mail: [info@mmij.or.jp](mailto:info@mmij.or.jp) TEL: 03-3402-0541 FAX: 03-3403-1776

なお、春季・秋季大会への無記名式アンケートもございますので、大会全般に関しご意見、ご要望がございましたらお気軽にお寄せください。  
大会開催前・開催期間中・大会開催後、随時受け付けております。



## 参加申込

- 参加受付期間 早期参加費決済期間：2024年6月5日(水)～8月19日(月)  
通常参加費決済期間：2024年8月20日(火)～9月12日(木)

■申込区分・申込期間ごとの大会参加費（税込表記）

早期決済価格での〔入金締切日〕は8月19日(月)です。本入金締切日までに入金が未完了の場合、申込内容は無効となりますので、8月20日(火)以降、通常申込価格にて再度お申込みください。

項目	早期決済価格 (6/5～8/19 入金完了分迄)	通常決済価格 (8/20～9/12 入金完了分迄)	
<b>大会</b> (9月10～12日)  ※一部オンライン 実施行事へのオンラ イン参加の場合も右 記と同額です。	1. 本会正会員および本会賛助会員・ 共催団体にご所属の方	11,000円	13,000円
	2. 実講演者(除・学生)	11,000円	13,000円
	3. 非会員(一般)	13,000円	15,000円
	4. 本会学生会員	4,000円	6,000円
	5. 非会員学生	5,000円	7,000円
<b>大会交流会</b> (9月11日)	6. 一般	10,000円	11,000円
	7. 学生	4,000円	5,000円
	8. 70歳以上の方と同伴家族	4,000円	5,000円
<b>見学会</b> (9月13日)	A. 1班. 再生可能エネルギーコース (9/13・定員30名)	9,000円	※見学会参加には、「大会 参加費」と「見学会参加費」 の両方支払いが必要です。 見学会の申込方法詳細は、 本冊子「見学会」ページ をご確認ください。
	B. 2班. 秋田市内製精錬コースコース (9/13・定員20名)	7,000円	
	C. 3班. 大館・能代地区リサイクルコース (9/13・定員30名)	8,000円	
<b>部門委員会 グループ交流会</b> (9月10日)	部門委員会グループ交流会の申込先は、3グループ共通です。なお、参加費は各部門別に 現地会場にて現金で申し受けます。申込方法の詳細は本会告「部門委員会グループ交流会」 ページをご確認ください。		

【大会参加区分の補足】

◎社会人学生について

企業・団体に雇用され、給与所得がある方は「1. 本会正会員および本会賛助会員・共催団体にご所属の方／2. 非会員の講演者(除・学生)／非会員(一般)」区分(社会人価格)にて、これに該当されない方は「本会学生会員／非会員学生」区分(学生価格)にてお申込みください。

◎本会賛助会員企業・団体ご所属参加者の割引設定について

本会秋季大会には、本会賛助会員および本大会共催団体にご所属の方も本会正会員と同額にてご参加いただけます。

■大会参加申込・支払方法

大会参加申込は、早期支払い・通常支払いに関わらず、全て大会WEBサイトからのみ受付いたします。支払方法は「銀行振込」「コンビニ決済」「クレジットカード決済」より選択可能です。会期中の大会受付での現金払いによる申込取扱いはございませんので必ず事前にWEBシステムよりお申込の上、ご来場願います。また、大会受付にご来場の際は必ず「参加証」をA4用紙に印刷の上ご持参ください。

■申込取消

参加申込取消をご希望の場合、8月19日(月)迄にE-mailにて資源・素材学会事務局(info@mimij.or.jp)宛ご連絡ください。所定の手数料を差し引き、参加費の返金手続きをいたします。

なお、8月20日(火)以降のキャンセル・返金は対応いたしかねますことを予めご了承ください。



## 参加申込システムについて

本システムでは、1アカウント(=1メールアドレス)につき「1回に限り」参加申込・決済可能です。システム仕様上、既に「大会」参加申込&決済が完了したアカウントでは「大会交流会」「見学会」等別行事の追加申込&決済をお受け出来ませんので、「大会」「大会交流会」「見学会」等、**複数行事への参加をご検討の場合は、一度の申込みに纏めてご対応ください。**

なお、追加申込が必要な場合、別のメールアドレスにて新アカウントを作成し、追加申込いただく事も可能です。システム仕様上、皆様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご容赦ください。お申込みにあたりご不明点等ございましたら、お気軽に事務局宛お気軽にお問い合わせください。

### STEP 1. アカウント作成

ログイン URL <https://mmij.confite.atlas.jp/>



WEB「参加申込システム」にアクセスし、参加者の方の本大会用アカウントを登録してください。アカウント登録に必要な情報は a. 氏名(日・英・ふりがな) / b. メールアドレス / c. 本大会会期中に回答可能な電話番号 / d. 所属先住所 / e. 所属名称 / f. 所属部署 / g. 本会正会員・学生会員・非会員の別 / h. 本会会員の場合、会員番号 です。

### STEP 2. 参加申込フォーム入力

STEP1 で作成したアカウントを用いて「参加申込システム」へログインし、「参加申込」ボタンをクリックし、参加申込へ進んでください。参加申込には以下の情報が必要です。予めご用意ください。

- 【1】参加者の大会参加種別(本会正会員・賛助会員・共催団体にご所属の方 / 非会員 / 学生等)
- 【2】参加費決済または送金予定日(決済日または送金日を入力)
- 【3】参加費支払方法(クレジットカード決済 / 銀行振込 / コンビニ決済)
- 【4】その他連絡事項等

※本大会後援団体「秋田市」への大会開催助成金申請および報告のため、大会参加者の秋田市滞在期間調査を実施いたします。回答いただきました内容は個人を特定できない形で提供し、本報告以外の用途には使用いたしません。お手数をおかけしますが、ご協力方よろしくお願いたします。

### STEP 3. 参加費のお支払い

引き続き「この内容でお支払いに進む」をクリックし、次ページへ進むと、各種支払い方法に沿ったお支払いページに移動いたします。

※万が一、支払完了前に画面を閉じてしまった場合は以下手順にてお手続きください。

1. 【参加申込システム】に再度ログイン
2. 「オンライン決済」リンクをクリック
3. 「この内容でお支払いに進む」ボタンをクリック
4. 次ページにて、支払方法を選択
5. お支払い完了(大会参加申込完了)となります。

操作	
● 参加登録完了	
🔗 登録情報を表示	参加受付番号 Registration No. A00009
🔗 参加登録内容変更	銀行振込
👉 <b>¥ オンライン決済</b>	支払方法
🚫 参加登録取消	決済状況 未決済

「オンライン決済」をクリックして進んだ次の画面の右下に「この内容でお支払いに進む」のボタンがあります。

👉 **この内容でお支払いに進む**

## 参加証について

- 参加当日までに 大会 WEB サイト「参加申込システム」にて「参加申込・支払手続」を完了し、ご自身の「参加証」をダウンロード・印刷してください。  
**※「参加証」は、早期決済締切日の翌日（8/20）からダウンロード可能。**  
**※アカウントを複数作成し、複数アカウントから各行事を申し込まれた場合は、必ず全てのアカウント分の「参加証」をダウンロード・印刷してください。**

### <参加証のダウンロード・印刷方法>

- 大会 WEB サイト「参加申込システム」にログイン
- 「各手続きの申込・訂正はこちら」をクリック
- 「参加証ダウンロード」をクリックすると画面に「参加証」が表示され、印刷可能。



- ダウンロードいただいた「参加証」を A4 サイズの用紙に印刷してください。

印刷いただいた「参加証」の名札部分は、そのままハガキサイズの名札ケースに差し込み、大会期間中に首から掲げる「名札」として使用いたしますため、印刷設定時にサイズは変更せず、A4 用紙全面に印刷してください。



- 初回会場来場時、会場受付に「参加証」を原寸（A4）サイズ用紙に印刷の上、ご持参ください。
- 大会受付にて紙に印刷した②個別 QR コードをご提示の上、チェックインください。
- 受付にて「名札ケース」および「大会プログラム冊子」を配布いたします。  
 ※「大会交流会」交流会会場入口での入室チェック用に「大会交流会」参加有無により「名札ケース」の色を分けております。大会参加のみの方には白い名札ケース、大会交流会参加者には色付きの名札ケースをお渡します。
- ③の説明書き通りに参加証を折り畳み、①名札部分が表に見えるよう「名札ケース」に差し込んでください。  
 ※会場入場時および会場内では「名札ケース」を首から下げて常時携帯してください。
- ④参加証明書は、大会終了後にご所属先等に提出を求められた場合の証書類としてご利用ください。  
 ※右図は「参加証」のサンプル



## 請求書・領収書発行について

システムからの「請求書」・「領収書」ダウンロード可能期限は2024年9月30日迄です。

### ■請求書発行 <ダウンロード期限：2024年9月30日まで>

請求書はWEBシステムからご自身でダウンロード可能です。必要な場合、以下手順にてお手続きください。  
※複数名の参加費の一括送金はお受けできかねますので、あらかじめご了承ください。

「参加申込システム」で参加申込手続きを行うと、ご自身の参加登録情報に「請求書ダウンロード」リンクが表示されますので、そのリンクをクリックし、請求書を表示してください。ページ右側の「宛名欄」[発行日欄]は自由入力可能となっておりますのでそれぞれご入力の上「請求書ダウンロードボタン」をクリックし、請求書を発行（ダウンロード）してください。

請求書には発行日・請求書宛名・支払方法・金額・参加項目内訳が印字されます。

また、請求書は複数回ダウンロード可能。

### ■領収証発行 <ダウンロード期限：2024年9月30日まで>

領収書はWEBシステムからご自身でダウンロード可能です。必要な場合、以下手順にてお手続きください。

◇「クレジットカード決済」「銀行振込(GMO あおぞらネット銀行)」「コンビニ決済」いずれも：

「参加申込システム」にログイン後画面に表示される「領収書ダウンロード」リンクをクリックすると領収書イメージページが表示されます。領収書宛名はページ右側にある「宛名欄」にてご希望宛名に変更可能。

「領収書ダウンロードボタン」をクリックすると、領収書が発行（ダウンロード）可能。

領収書には発行日・申込者氏名・支払方法・支払日・金額・参加項目内訳が印字されます。

領収書は複数回ダウンロード可能ですが、2回目以降は「再発行」の文字が印字されます。

## 特定商取引法に基づく表記

販売業者：一般社団法人資源・素材学会（WEB サイト <https://www.mmij.or.jp/>）

責任者：事務局長 矢野 和文

所在地：〒107-0052 東京都港区赤坂九丁目6番41号 乃木坂ビル

連絡先：TEL：03-3402-0541 FAX：03-3403-1776 E-mail：info@mmij.or.jp

商品の種類：大会参加費、本会入会金・年会費、書籍購読料

販売価格：各案内、申込ページに表示

振込手数料・消費税：申込者負担

消費税：原則消費税込

お支払方法：

◆銀行振込（バーチャル口座）：GMO あおぞらネット銀行の”振込入金口座”を利用しております。

◆クレジットカード：取扱い可能なブランド：VISA、MASTER、JCB、AMEX、DINERS

◆コンビニ決済：コンビニエンスストアにてお支払いいただけます。ご注文手続き後、14日以内にお支払いください。

<支払い可能なコンビニ>セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート、セイコーマート、ミニストップ、デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストア

\*銀行振込、クレジットカード、コンビニ決済でのお支払いは、GMO ペイメントゲートウェイ社の決済代行サービスを使用しています。決済情報はSSLで暗号化され、安全性を確保しております。

またGMO ペイメントゲートウェイ社のSSL証明書はペリサインにて発行されております。

お支払期限：案内申込ページに表示

キャンセル・変更：原則、早期申込期間終了以降キャンセルはお受けできません。ただし、ご購入いただいた書籍等に落丁等があった場合は、送料当方負担にて交換いたします。

## 配布・公開資料

大会スケジュールは7月中旬、大会プログラムは7月下旬を目途に大会WEBサイトにて一般公開予定です。

### 【参加証】

オンラインでの参加申込後、8月20日以降「参加証」が発行可能となります。

「参加証」はWEBシステムにログインの上、ご自身でダウンロードし、必ずA4用紙に印刷の上、大会受付にご持参ください。

「参加証」には、本大会会場への入構に必要な「名札」、大会受付でのチェック

インに必要な「個別QRコード（大会参加受付証）」、大会参加を証明する

「参加証明書」が含まれます。詳細は本会告「「参加証」について」ページよりご確認ください。



### 【大会プログラム】

一般公開：WEBプログラム（大会WEBサイトにて7月下旬を目途に一般公開いたします。）

参加者限定配布：PDF版プログラムを9月3日に大会参加申込者宛E-mailにてご案内予定です。

また、冊子版プログラムを現地大会受付にて配布いたします。

### 【WEB講演集】

▶ 公開日：2024年9月3日

▶ 閲覧方法

本大会の「WEB講演集」は、大会WEBサイト上で一般公開するプログラムページに、9月3日より「講演PDF」をWEB講演集閲覧用パスワード付で公開いたします。

パスワードは、[大会参加者専用] [資源・素材学会個人会員専用]の2種類あり、それぞれ異なる対象・パスワード・有効期間を定めております。

[本大会参加者専用パスワード]では、2024年9月3日(火)～10月16日(水)の間、閲覧可能です。当該期間終了後は[資源・素材学会個人会員専用パスワード]に変更いたします。

<パスワード通知方法>

[大会参加者専用パスワード]は、大会参加申込者に送信するE-Mailならびに大会プログラム(冊子版・PDF版)に掲載いたします。

[資源・素材学会個人会員専用パスワード]は、会員専用サイト「会員マイページ」にて確認可能です。

※WEB講演集閲覧方法の詳細は本会告「WEB「講演集」閲覧について」をご確認ください。

### 【プログラム公開日・WEB講演集公開日・著作権】

ご登録頂いた講演・発表題目、発表者・共著者、要旨および講演集原稿はWEB講演集として公開いたします。

公開内容の著作権は「一般社団法人資源・素材学会著作権規程」に基づき、全て弊会に帰属いたします。

ただし、本会は、著作物等の著作者が自らの発表成果物を非商業的利用の目的で行なう発表成果物の再利用は妨げません。なお、本大会の講演概要ならびに講演集の公開日は以下の通りといたします。

▼詳細スケジュール（一般公開）：

7月中旬を目途に詳細スケジュールをWEB上にて一般公開いたします。この際、公開される情報には講演概要（各セッション内の個々の発表予定時間／講演タイトル／著者情報）を含みます。

▼WEBプログラム公開日（一般公開）：

7月下旬を目途にプログラムをWEB上にて一般公開いたします。この際、公開される情報は、上記詳細スケジュールの公開情報に加えて（キーワード／アブストラクト）を含みます。

▼WEB講演集公開日（参加者限定公開）：アップロードいただく「講演PDF」は、WEB講演集に収録され、WEB上にてパスワード付公開いたします。公開日は会期1週間前の「2024年9月3日」です。

▼特許関係のお手続きは、上記プログラム公開日およびWEB講演集公開日・公開範囲を十分にご承知いただいた上で、公開日までにお済ませください。

本大会での個々の研究発表に関して問題が生じた場合に、本会はその責任を負いかねます。研究発表内容の取り扱いに十分にご注意いただきたく、特に特許に関わる機密情報を含む場合は慎重な判断をお願いいたします。



- ▶ 著作権：ご登録頂いた講演・発表題目、発表者・共著者、要旨および講演集原稿はWEB講演集として公開いたします。公開内容の著作権は「一般社団法人資源・素材学会著作権規程」に基づき、全て弊会に帰属いたします。ただし、本会は著作物等の著作者が自らの発表成果物を非商業的利用の目的で行なう発表成果物の再利用は妨げません。

## ＜重要＞本大会参加および講演発表における注意事項

本大会参加者は企画・一般講演発表、ポスター発表（ショート講演有）全てにおいて、発表成果物の撮影、録音、保存、印刷等の行為は禁止いたします。

また、本大会で講演・発表をご予定の方は、必ず本大会における【免責・規約・個人情報取扱・注意事項等】をご確認の上、講演・発表登録してください。本大会に講演登録された場合、以下注意事項に同意いただいたこととみなします。

### ＜講演・発表にあたっての注意事項＞

- ▶ 液晶プロジェクターによる発表用のパソコンは講演者自身でご持参ください。また、HDMI および VGA (D-sub15 ピン端子)に対応していないパソコンをご使用の方は、各自、変換アダプターをご持参ください。

(なお、会場プロジェクターと講演者のパソコンの相性により上手く接続されない場合もございます事をあらかじめご了承ください。)

- ▶ 講演発表に要するパソコン設備・インターネット通信料等は発表者の自己負担とします。パソコンのセットアップ・動作確認等はあらかじめ発表前にご自身で行ってください。起動後はパソコンの電源が切れないように設定しておくこと等、プログラムの定時進行にご協力をお願いいたします。
- ▶ 本大会での企画・一般講演発表、ポスター発表（ショート講演有）の個々の発表については、状況により中止（司会・発表者による当該発表の中止等の判断も含む）も有り得る事をご承知おきください。

### ＜資源・素材学会の講演投稿の免責・規約＞

- ▶ 講演発表における発表資料、撮影写真、収録映像・音声並びに関連資料および素材等（それらに含まれる演者の肖像および成果物を含み、以下、発表成果物という）に係る著作権（日本国著作権法第21条から第28条までに規定する全ての権利を含む）は「一般社団法人資源・素材学会著作権規程」に基づき、全て弊会に帰属いたします。ただし、本会は、著作物等の著作者が自らの発表成果物を非商業的利用の目的で行なう発表成果物の再利用は妨げません。
- ▶ 本大会での研究発表においては、本会で未発表のものに限ります。ただし、本会では他学会ならびに本会支部大会で発表済みの発表は妨げません。なお、プロモーション等の業績評価で発生する2重評価などの問題は、業績リストに同じ内容での重複発表であることを記すなど発表者自身の責任で管理してください。
- ▶ 本大会での研究発表においては、他から転載されている著作物について転載許可を得ているまたは、著作権上の問題がない利用に限るようお願いいたします。
- ▶ 発表成果物において、第三者の著作権その他の権利及び利益の侵害問題を生じさせた場合、弊会は当該発表成果物の公開を中止いたします。
- ▶ 本大会では、研究発表内容の取り扱いに十分にご注意いただきたく、特に特許に関わる機密情報を含む場合は慎重な判断をお願いいたします。
- ▶ 企画・一般講演発表、ポスター発表（ショート講演有）全てにおいて、発表成果物の撮影、録音、保存、印刷等の行為は禁止いたします。
- ▶ 本大会での個々の研究発表に関して問題が生じた場合に、本会はその責任を負いかねます。特に前述のとおり資料内やその他関連ファイルの著作権・肖像権・個人情報等の取扱いに十分ご注意ください。
- ▶ 発表内容が商業的宣伝に偏るなど、本大会の趣旨に合致しないとプログラム委員会（春季・秋季大会委員会）にて判断した場合は、WEB講演集への掲載および講演・発表をお断りする可能性がございます。予めご了承ください。

### <資料引用にあたっての指針>

著作権侵害リスク軽減のため、以下にご注意ください。

- (1) 引用した情報を利用する場合、発表スライドでは自説や引用の掲載理由が”主”になる配置をお願いします（引用図表がスライドの大半となる配置は著作権侵害の危険があります）。
- (2) 翻案や改変行為（引用した図表の一部に手を加えるなどの行為）は著作権侵害のリスクが高いため、原則禁止とします。
- (3) 可能な限り他者の図表を掲載して引用とするのではなく数値や事実のみを利用してください。
- (4) 引用する上で図表を掲載する必要がある場合には、オープンアクセス誌の積極的な利用を推奨します。
- (5) ネット等のフリー素材利用は、提供元が提示する「利用条件」を確認し、許可された範囲内で利用してください。
- (6) 海外の著作物を使用する場合は係争等のリスクが高いため、原則として図表は使用せず重要な事実のみの記載（数値や事実のみを利用）することを推奨いたします。

### <個人情報取扱いについて>

講演登録・参加登録で提供いただいた個人情報は本大会の運営目的にのみ利用いたします。当該情報は本会プライバシーポリシーに則り、本会が適切な管理に努めます。また、各登録者の許諾を得ず、その他の用途に利用することはありません。

### <大会開催方法変更や中止時における緊急連絡方法について>

台風など暴風警報等発令時や大規模な自然災害、新型コロナウイルスの流行状況などにより、現地での大会開催が困難と判断した場合は、大会参加者および関係者の安全面を第一に考慮し、開催方法変更や開催中止の判断を行い、以下の手段にて周知いたします。

- ・大会 WEB サイトへの情報掲載
- ・資源・素材学会 WEB サイトへの情報掲載
- ・資源・素材学会 Twitter での情報発信
- ・大会参加および講演登録者各位へのメール送信
- ・資源・素材学会個人会員を対象とするメールマガジン配信
- ・協賛・共催・後援団体：窓口ご担当者様へのメール送信

## 講演発表について

### 【講演発表および質疑応答時間】

- ▶ 企画講演：講演時間、質疑応答時間も企画毎に設定
- ▶ 一般講演：20分（本大会での講演時間および質疑応答時間は以下の通りです）
  - (a) 講演時間：15分、質疑応答5分  
（分野：開発機械、岩盤工学、資源経済と社会システム、資源開発技術、  
鉱物処理、リサイクル、環境）
  - (b) 講演時間：12分、質疑応答8分  
（分野：湿式素材プロセッシング、高温素材プロセッシング、新材料）

### 【講演中のアナウンス】

講演終了1分前に1鈴、終了時間に2鈴、質疑応答終了時間に3鈴のベルを鳴らし、お知らせします。

## 若手・一般ポスター発表について

### 9/11 ポスター発表ショート講演について

ポスター発表に先立ち、「講演会場」にてパワーポイントを用いてご発表いただく個別のショート講演をいたします。（発表・質疑応答時間は確定後大会 WEB サイトおよび E-Mail にてご案内いたします。）

### 9/11 ポスター発表（展示）について

ショート講演終了後、「ポスター発表会場」にてポスター発表を実施いたします。

- ・発表ポスターは原則、大会初日 9 月 10 日（火）10 時～11 日（水）10 時までに会場のポスター番号を付したボードに各自で展示してください。展示用のピン、テープ等は実行委員会にて準備いたします。
- ・発表者は、発表日コアタイム時間中必ず各自のポスター周辺で待機してください。
- ・ポスターボードのサイズ：横 1000 mm×縦 1800 mm
- ・ポスターボードの配置および発表時間：ポスターボードの配置図および発表時間は、7 月中に大会 WEB サイトにて公開予定です。また大会参加者に配布する「大会プログラム」にも掲載いたします。

### 若手ポスター発表賞について

- ・「若手ポスター発表賞」受賞者速報を 9 月 11 日（水）ポスター発表時間中 17 時を目途に、受賞ポスター発表者への通知、および大会 WEB サイトへの掲載ならびに X (旧・Twitter) にて発表いたします。実行委員会より、受賞通知を受けた受賞者は「当日開催の大会交流会および表彰式への出欠可否」を同日 17 時 15 分までに大会受付にお知らせください。
- ・「資源・素材学会若手ポスター発表賞」表彰式を 9 月 11 日（水）夕刻に開催する大会交流会にて執り行います。受賞者は大会交流会にご招待の上、表彰式にご出席いただきますので、9 月 11 日（水）17 時 45 分までに大会交流会受付（ANA クラウンプラザホテル秋田 4 階「ベガ」前受付）にお越しください。

## 「企画・一般講演」「若手・一般ポスター発表（ショート講演有）」提出原稿について

資源・素材 2024（秋田）における企画講演・一般講演および若手・一般ポスター発表（ショート講演有）にご登録いただいた皆様は、【大会 WEB サイト】をご確認の上、各提出原稿を作成後、アップロードくださるようお願いいたします。

<WEB 講演集原稿（本文 PDF ファイル）提出：講演者または共著者>

2024 年 6 月 13 日（木）正午 ～ 8 月 21 日（水）正午 ※締切厳守

大会 WEB サイトに掲載の弊会指定のフォーマットを用いて原稿（図表を含み＜本文＞ 1 ページ以上 上限 6 ページ以内）の A4 サイズ原稿 PDF ファイルを作成後、大会 WEB サイト「講演登録システム」より講演登録時に登録した任意の ID・パスワードにてログインし、PDF 化したデータをご投稿ください。  
※提出締切後の差替・追加登録は一切お受け出来ません。

<！ポスター発表者のみ！ 発表用 PPT スライドデータ提出：ポスター発表者または共著者>

2024 年 8 月 30 日（金）～ 9 月 9 日（月）17 時 ※締切厳守

ポスターショート講演口頭発表に必要な PPT スライドデータ（ファイルサイズ上限：10.0 MB、ファイル形式：ppt）をパワーポイントにて作成後、大会 WEB サイト「講演登録システム」より講演登録時に登録した任意の ID・パスワードにてログインし、ppt データをご投稿ください。  
※提出締切後の登録は一切お受け出来ません。

## 本大会の企画セッション

アルミリサイクルによる循環経済型イノベーション都市・富山の構築に向けて  
～ JST・COI-NEXT 本格型・富山大学での取り組み ～

富山大が主導する JST・COI-NEXT 育成型プロジェクトが 2024 年度より本格型に昇格した。このプロジェクトは、アルミリサイクルを通じて富山で資源循環社会モデルを創成し、日本全体に横展開することによって、富山県の工業の持続的発展、日本のアルミ産業の発展、地球規模での環境保護に貢献することを目指したものである。粉体精製工学部門委員会の委員も参画している当プロジェクトの最近の取り組みを紹介する。

### 海底資源開発の課題と展開

1970 年代にマンガン団塊開発を目指した取り組みが開始されてから 50 年が経過したが、未だにその開発は実現していない。この間、海底熱水鉱床、コバルトリッチクラスト、メタンハイドレートなどの新たな資源も認識され、開発に向けた期待は高まり、技術開発も行われたが、これらも開発は実現に至っていない。

海底資源開発に向けた現状の認識と、課題についての理解を深め、今後の展開策を探る。

### 学会長期テーマプロジェクトー第 2 期のスタートアップと第 1 期のフォローアップ

日本鉱業振興会の助成により学会長期テーマプロジェクトが第 1 期から継続され、厳正な審査を経て 2024 年 3 月に 7 件の第 2 期課題が採択された。統括リーダーから第 2 期の趣旨説明に引き続き、スタートアップした各採択課題の研究内容や目指すところなどを発表いただく。

また、第 1 期の 7 課題のフォローアップとして、各課題の研究成果の総括やその後の発展などを発表いただく。

### 岩盤工学と異分野の融合

近年、持続可能な発展を目的として、様々な大深度地下開発・利用手法が新たに提案され、岩盤工学が取り扱う事象が複雑化してきている。このような状況に対応するためには、従来の岩盤工学が主として対象としてきた岩盤の物理、力学、水理特性のみではなく、化学、微生物学、鉱物学、情報技術などの異分野の知見が必要となる。本セッションでは、岩盤工学と関連する最先端の異分野融合研究の例を紹介する。

### 建設用原材料の評価・利用技術および脱水ケーキ等の未利用資源の活用

建設用原材料である骨材の品質評価、骨材生産における環境影響、副産物の脱水ケーキの活用可能性に関する最新の知見を発表・討論する。

### 鉱業史

鉱業および関連技術の歴史に関する研究を対象に、世界と日本の前近代から現代にいたる鉱業を幅広く取り扱う。地質学、鉱山工学、冶金学、歴史学、考古学などの研究が含まれる。



### 最近の採掘技術に関するトピック

石灰石鉱山をはじめとする採掘技術に関する最新の技術や関連する研究成果の発表を通して、新たな技術開発の知見を交換しする場を提供する。また、この企画発表を通して技術者および研究者どうしの親睦をはかり、新たな採掘技術発展のための知識を集約する。

### 最近の石炭等エネルギーの開発・利用の動向

カーボンニュートラルへ向けた活動が加速する中、石炭等の炭化水素エネルギー資源の開発や利用が岐路に立たされている。一方で、今後も増加が見込まれている世界的なエネルギー需要の増加に対応するためには石炭等の開発・利用が不可欠である。本企画講演では、炭化水素エネルギー資源の開発・利用に関する最新の動向についてご講演いただき、カーボンニュートラルを目指した炭化水素エネルギー資源の開発・利用のあり方について議論する。

### 資源社会システム

2023年に資源社会システム部門委員会を設立した。本委員会は、資源経済部門委員会との統合を行い、同部門委員会がこれまで担ってきた鉱山開発の上流側の事柄、特により現場に近いメンバーからの知見を集約し活用することも活動範囲として含める。資源開発・リサイクル技術についても念頭に置きつつ、社会全体での資源利用の効率化を目指した社会システム設計に資する議論を行う。

### 資源探査における大規模データと掘削情報プロセッシングの動向

鉱物・エネルギー資源の探査に関する最新の技術動向や基礎研究、陸から海に至るリモートセンシング、物理探査、化学分析、掘削情報などのマルチスケール情報、さらに、地球・環境科学および数理情報科学を含む幅広いテーマについて議論し、資源・素材研究における新たな価値創造を目指す。

### JOGMEC 金属資源生産技術に関する先端的研究

JOGMECでは主に非鉄金属資源の選鉱・製錬分野で先端的な研究をこれまで実施してきた。本企画セッションでは、選鉱分野での情報工学の導入を目指した取り組み、未利用資源の有効活用を目指した選鉱に関する研究、難処理原料を対象とした製錬分野での基礎的研究など JOGMEC及び大学と共同実施したテーマにつき報告する。

### 世界と伍する資源人材の育成と国際プロジェクト

激変する世界の資源産業に対応するため、大学と機関では現在多くの資源系人材育成や国際的なプロジェクトが実施されている。本企画セッションではこれらの取り組みについて網羅的に発表を行い、今日国内でどのようなプロジェクトが進行しているかを把握し、これによって今後の大学間や機関間との協働した取り組みやノウハウの蓄積あるいは効率的な人材育成や国際的プロジェクトにつながる可能性を広げることを目指す。

#### ゼロエミッション社会構築にむけた CCS/CCUS 技術開発

CCS/CCUS 技術に関わる最新の研究動向の紹介：ゼロエミッション社会構築に不可欠な CO<sub>2</sub> 回収・貯留 (CCS) 技術および CO<sub>2</sub> 回収・有効・貯留 (CCUS) 技術における最新の技術動向や、それらの基礎となる地化学、岩石力学、ならびに水理学等に関連した研究を紹介する。それらのテーマの議論を通じて、CCS/CCUS 技術の更なる発展に資する知見の提供をめざす。

#### 第9回 資源・素材塾ネットワーキング

国内の資源・素材系技術者の育成を目的とし、資源・素材学会「資源・素材教育センター」主催にて 2010 年より『資源・素材塾』を催しており、これまで 511 人 (2024 年 4 月時点) の修了生を輩出した。本年度も「資源・素材塾」OB を社会人講演者としてお迎えし、資源・素材塾の思い出と最近のご活躍に関するお話をいただくとともに、今年度の「資源・素材塾」受講生によるグループ討議発表も予定している。本企画を通じ、当該分野のネットワークをさらに拡大するとともに、資源・素材分野の人材ベース強化と学生の資源・素材分野に対する意識の向上することを期待する。

#### 地圏環境に由来する環境汚染物質評価・対策の動向

部門委員会活動に関係するトピックである地圏環境汚染対策・評価および坑廃水対策に関する最新の動向を紹介するとともに、それを踏まえ、効率的な議論を進める。なお、本セッションは一部招待講演を含む応募型のセッションである。

#### 廃棄リチウムイオン電池の処理ならびに関連資源の資源循環技術

素材部門委員会では、無機素材全般の製造、リサイクリング等に関する広範囲な技術情報の交換の企画セッションを春秋大会で開催している。今回は、リチウムイオン電池のリサイクリングならびにその周辺技術に関するセッションを企画した。なお、次回以降の企画の提案も委員の方から受け付けており、さらに、委員も随時募集している。企画提案のある方、委員希望者は学会ホームページを参考に委員長もしくは事務局まで連絡ください。

#### 非鉄金属製錬に関わる物性の理解と未利用副産物の回収と活用

東北大学多元物質科学研究所と住友金属鉱山株式会社による共同研究部門による活動および研究成果を報告する。啓発活動として、オープンキャンパスなどで非鉄金属製錬を紹介し、簡単な実験を通じて興味を引き出す展示を企画した。銅製錬に関わる物性および反応の解析、未回収有価金属の回収、忌避金属の有効活用、水平展開を見据えた湿式製錬に関わる錯体解析など、多岐にわたる研究について、方法論から応用展開まで議論する。

#### ワイヤロープ

本セッションは、ワイヤロープ研究会が線材製品協会ワイヤロープ部会との合同で企画するもので、年に一度、ワイヤロープにかかわるメーカー、ユーザー、研究機関などに属する技術者・研究者が一堂に会し、互いの最新の研究成果や、開発技術・実用事例などについて公開で発表・討議することをもって、ワイヤロープの製造・使用・保守管理に関する技術のさらなる向上・発展に資することを目的とするおのである。

## 一般講演分野 / 若手・一般ポスター発表（ショート講演有）分野

### 開発機械

資源生産や地下空間利用のために用いられる技術について、岩盤掘削・破碎やその制御など、計測や機械工学的側面を中心とした議論を行う。

### 岩盤工学

岩盤の力学特性、地山応力など、地下の岩盤の状態の把握に必要な基礎的な試験技術、解析技術、そしてこうした技術を用いたケーススタディについて議論を行う。

### 資源経済と社会システム

エネルギーや金属鉱物などの資源の開発と利用に関連し、その環境負荷、そして資源と素材の供給に関する経済的インパクトおよび関連する社会システム・制度など、社会的観点からの議論を行う。

### 資源開発技術

エネルギーや金属鉱物などの資源の開発に必要な上流から下流までの開発・生産の技術に関する科学的・技術的な現状および課題について議論を行う。

### 鉱物処理

天然鉱物資源の選鉱・製錬分野（物理選別、浮遊選鉱、バイオリーチング、ケミカルリーチング等）における新手法開発、新たな対象物への適用技術開発等について議論を行う。

### 環境

資源・素材プロセスの過程で排出される環境負荷物質の不動化技術、浄化材料、化学再生、モデリング、リスク評価および資源・素材プロセス技術を適用した環境保全に関する学術的議論を行う。

### リサイクル

資源・素材のリサイクルに関して、選別方法、素材プロセッシング、社会システムの個別課題への対応および分野横断的な議論を行う。

### 湿式素材プロセッシング

湿式製錬、リサイクル、水溶液をはじめとする溶液系での新素材の製造に関する反応、電解もしくはバイオリーチングなどについてその熱力学・速度論などの学問的議論を行う。

### 高温素材プロセッシング

乾式製錬、リサイクル、高温における新素材の製造に関する反応、高温溶融塩電解などについて、その熱力学・速度論などの学問的議論を行う。

### 新材料

無機材料（酸化物、非酸化物）、半導体、機能性ガラス、ナノ材料などの新素材・材料の物性の発現および物性と構造の相関性を中心に議論を行う。

## WEB「講演集」閲覧について

本大会の「WEB 講演集」は、大会 WEB サイト上で一般公開するプログラムページに、9月3日より「講演 PDF」を WEB 講演集閲覧用パスワード付で公開いたします。

### ◆WEB 講演集閲覧用パスワードについて

パスワードは、[大会参加者専用] [資源・素材学会会員専用] の2種類あり、それぞれ異なる有効期間を定めております。

**[大会参加者専用パスワード] …対象：「資源・素材 2024（秋田）」大会参加者**

本大会参加申込者に限り 2024 年 9 月 3 日より WEB 上での講演集の事前閲覧が可能です。

本大会の [大会参加者専用] パスワード有効期限：10 月 16 日まで

**[資源・素材学会個人会員専用パスワード] …対象：資源・素材学会 正会員および学生会員**  
会員の皆様は大会参加如何に関わらず、資源・素材学会会員専用 WEB ページ「会員マイページ」にログインの上、「春季・秋季大会講演集」アーカイブサイトにアクセスいただくと、パスワード入力不要にて 2014 年春季大会以降に開催した「春季・秋季大会講演集」をいつでもご覧いただくことが可能です。ただし、「資源・素材 2024（秋田）」WEB 講演集は 10 月 16 日まで [大会参加者専用パスワード] を設定しておりますので、10 月 17 日以降、上記方法にて閲覧可能となります。

※ [資源・素材学会個人会員専用パスワード] は毎年 1 月に変更いたします。

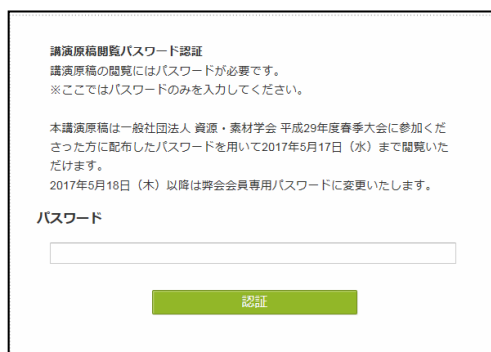
### ◆WEB 講演集 閲覧方法について

「資源・素材 2024(秋田)」WEB サイト右側「資源・素材 2024(秋田)講演検索」の≫詳細検索をクリック

【講演検索画面】



【パスワード入力画面 (例)】



上記「①プログラム別」、「②日程別」「③講演検索」のタブが表示されます。

「①プログラム別」、「②日程別」では、セッション・日付毎に講演を一覧形式で閲覧可能です。

「③講演検索」では、閲覧したいタイトル、著者・共著者、所属、講演番号、キーワード等の条件を指定して検索可能です。

①～③いずれかの方法で表示された個々の講演タイトルをクリックすると、当該の講演情報が表示されます。ここで、講演集閲覧用パスワードを入力すると本講演集に収録された個々の講演 PDF ファイルを閲覧可能です。※パスワードの入力は最初の 1 度のみ必要で、一度入力すると、本大会全講演の「PDF ダウンロード」が可能です。

### ◆春季・秋季大会 WEB 講演集アーカイブ(2014 年度春季大会以降) 閲覧方法について

「資源・素材 2024(秋田)」WEB サイト右側「春季・秋季大会 WEB 講演集アーカイブ・講演検索」をクリック

以下講演集検索ページより、平成 22(2014) 年春季大会以降の講演詳細・PDF ダウンロードが可能です。

※過去の WEB 講演集閲覧には、[資源・素材学会個人会員専用パスワード] が必要です。

